

EXCITING CUSTOM CAR LIFE

custom car vol.545

45th
Anniversary

もぎたて即出し!

東京オートサロン2024

カスタムカー



HOT ROTY
[HONDA STREET]
By SAT'S

COVER
CAR

破天荒過ぎる
学生ビルドにおののけ!!



ありえねえなんてありえねえ! 軽カーベースで仰天カスタム連発!

プロジェクトIKKI

3

MAR. 2024



KEI-SPORTS



KEI-TRUCK



KEI-VAN

ハイエースのための
シートが出たってよ!



BRIDE

問>ブリッド ☎052-689-2611 <http://bride-jp.com>
PHOTO / 上新庄写真センター

ハイエースユーザーの悩みの種である純正シート。GL系のシートならまだしも、DX系はチープすぎて、長時間運転は苦行ともいえるほどカラダが痛くなる。そこで、スポーツシートに交換するワケだが、ハイエース乗りにダントツ人気なのがブリッド。乗降のしやすさ、着座位置といった、ハイエースならではの弱点を解消する機能が満載なのだ。

そんなブリッドから、ハイエースに装着することを最優先で考えた「エルゴスター」が登場した。まず第一に室内幅の狭いハイエース・ナローボディに装着できることを前提に開発。シヨルダー幅はBピラーに干渉しない500mm幅を実現（人気のユーロスターIIクルーズは545mm幅）。純正シートと比較してもドライビングポジションが上がらないように、座面も極限まで薄く設計（ユーロスターIIクルーズ比・マイナス20mm）。しかし、薄くしたことで座り心地を犠牲にしないように、座面のウレタン素材にこだわって、人間工学に基づいたS字型のバックレストとともに、長時間ドライブでの疲労軽減を実現している。

さらに、仕事で使うシーンが多い場合でも乗降しやすいようにと、サイドサポートはほぼフラットに近いぐらい低く設定している。運転時のサポートはシヨルダーを中心に、背中と脇でカバーする。エルゴスターの登場で、ブリッドのハイエース推奨シートは「ストリームスクルーズ」、「デイゴIIIライツ・クルーズ」、「サオウ」、ワイドボディ専用となる「ユーロスターIIクルーズ」の5モデルとなった。エルゴスターの立ち位置的には、ユーロスターII・クルーズとストリームスクルーズの中間ぐらいだ。

全高・全幅など、すべてにおいてコンパクトなエルゴスター。まさにハイエース専用シートといえるモデルの誕生だ!!



TYPE200 INTERIOR



いまやハイエースの装着率が爆上がり状態のブリッドのコンフォートシート。2024年一発目のHOTニュースは、ハイエースを意識したシートが登場したってこと!! これは絶対に見逃さないですぜ!!

ERGOSTER

【エルゴスター】

- 価格<税込>:14万8500~15万9500円
- ※シートヒーター搭載モデル:+1万8700円
- ※専用別売りアームレスト(左右用あり):9900円



レッドBE



チャコールグレーBE



ブラックBE



グラデーションロゴBE



3 フラットな座面



座面を極力薄くすることにより、シート交換によって極端に着座位置が高くなるのを防いでいる。厚みはディーゴⅢライツクルーズに近い。乗降性を考慮し、サポート部を低くしたぶん、ショルダーサポートでホールド性を確保。

エルゴスターの3つのPOINT!

2 サイドにタフレザーを採用



乗降時や運転時に擦れやすいサイド部には、丈夫なPVC製のタフレザーを採用。ワンポイント的なデザイン性も併せ持つ。なお、脇から腰にかけての張り出しも抑えられており、腕の自由度を高めている。

1 エッジを効かせた肩部分



ショルダー幅は500mmに設計、エッジを効かせたデザインを採用。コンパクトながら程よいサポート感を確保する。ハイエースや軽バンなど、車内が狭く、着座位置が下がりにくい車両にピッタリなのだ。



あるとないのでは利便性に差が出る、大型ポケットをシートバックに装備。雑誌、取説、うちわ、サンシェードなどを収納できる。



エルゴスターにはシートヒーター搭載モデルも用意。シガーソケットから電源を供給し、ダイヤル操作で6段階の温度調節可。



ブリッドのセミバケシートに標準装備されているのがクイックレバー。純正シートのようにワンタッチでリクライニングが可能なのだ。



ブリッドの他モデル同様、別売りの専用アームレストを装着できる。ただし、ハイエースはセンター側の片側のみ装着可能となる。

